

薪の手配はどうするの？

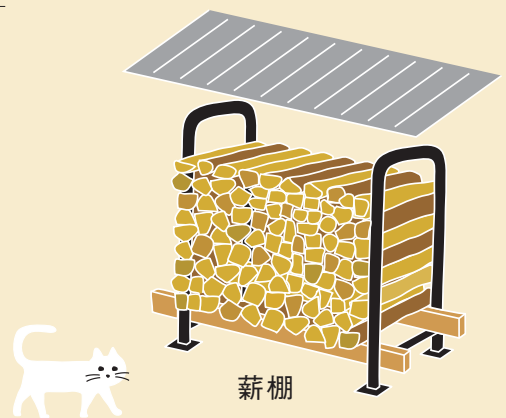
薪の種類

広葉樹（ナラ、クスギ、ブナなど）は、火持ちが良く暖める力が高いのが特徴です。針葉樹（カラマツ、スギ、アカマツなど）は密度が低いため薪割りしやすく、着火性が高いので 焚き付けにも適しています。



よく乾燥した薪を使いましょう

薪の乾燥が不十分だと「暖まらない」「煙が多い」というトラブルに。乾燥の目安は水分 20% 以下です。すでに乾燥させた薪を購入するか、ご自分で薪割りする場合は 1 シーズン乾燥させた薪を使いましょう。（秋に割った薪を 1 年乾燥させて翌年の冬に使います。地域によっては、冬に伐った材を春に割れば、その年の秋から焚ける場合もあります。）薪の保管管理は、風通しの良い場所が最適です。



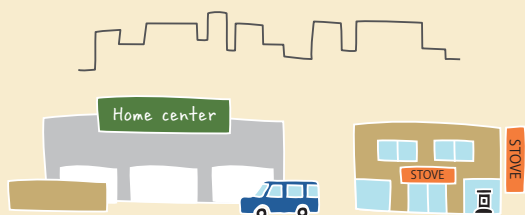
薪の入手方法

< 買う >

- ・薪ストーブ店を通じて購入する
- ・薪専門店、ホームセンターなどで購入する
- ・森林組合から購入する

< もらう、集める >

- ・森林整備ボランティアに参加して伐った木をもらう
- ・造園などの剪定木を譲ってもらう
- ・自治体によっては森林や公園整備などで出た木の提供を行っている



【参考】長野県内の薪の販売所

※薪を選ぶ際は、原料の由来に注意し、化学処理されていない無垢の木材を使いましょう。

安全で快適な薪ストーブ生活のために

煙突は薪ストーブの性能を大きく左右します！

薪ストーブの煙突はただ煙を通すための筒ではありません。ストーブ本体と煙突が一体となってその性能を発揮します。火事を起こさない安全な設置、煙突の設置方法、材質、メンテナンスのしやすさなど、煙突設計はストーブ選びと同様に大変重要ですので、経験豊富な工務店や設置業者によく相談してください。（火災予防に関する法令がありますので設置にあたり、ご注意ください。）

■ 煙を排出する力「ドラフト」が決め手！

ストーブの性能を最大限引き出すには、効率よく煙を排出して空気と入れ替えるドラフト性能の確保が不可欠です。

■ 煙突はできるだけ垂直に

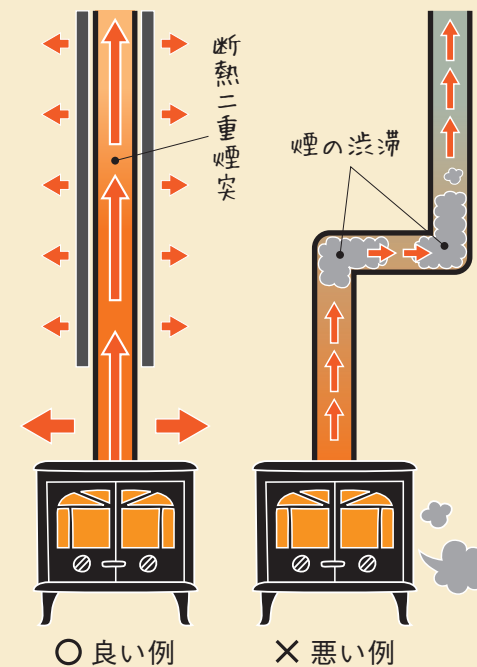
煙突の垂直部分が長いとドラフトが強くなります。逆に横引き部分が長い煙突はドラフトにブレーキがかかり、煙の渋滞を起こします。

■ 屋外部分は二重管の煙突を

室内ではシングル管の煙突で輻射熱を取りますが、屋外露出部分は二重管で断熱することで結露を防ぎ、煙突内部への付着物（スス、タールなど）を抑えます。

■ 煙突の高さを確保

煙突の排出口は十分高くして、樹木などの障害物を避けましょう。



お手入れ方法

< 日常 >

ドアガラスの清掃、灰受けの掃除

< シーズン前後 >

燃焼室の灰やすすなどをブラシで掃除、煙突の点検と掃除

< 定期的に >

3～5年に一度は専門家によるストーブ本体（ドア部分のガスケットの交換含む）と煙突のフルメンテナンスを行いましょう。

触媒式の場合は触媒の交換も必要です。



環境省がまとめたガイドブックには、薪ストーブ・ペレットストーブの適切な設置やメンテナンスについてより詳しく記載されていますので参考にしてください。



「木質バイオマスストーブ環境ガイドブック～薪・ペレットストーブの環境に優しい使い方～」

発行：環境省 水・大気環境局 大気環境課